

1. 指定管理者名	多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成　28年　4月　1日　～　令和3年　3月　31日
3. 業務の範囲	(1)市之倉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)市之倉公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表									
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	5	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P174.175(利用率・利用人数) ※平均値比●%　＝(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:39.7%(平均値比107.0%　＝39.7÷37.1%) 研修室:35.5%(平均値比103.2%　＝35.5÷34.4%) 和室:20.8%(平均値比97.7%　＝20.8÷21.3%) 料理実習室:8.7%(平均値比96.7%　＝8.7÷9.0%) 陶芸室:8.5%(平均値比90.4%　＝8.5÷9.4%) 資料室:46.4%(平均値比96.7%　＝46.4÷48.0%)	4点	
					平均値比(100%)=利用率(26.6%)÷26.5%(上記(2)適用)				
		(2)市之倉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。	5	②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※平成29年度選挙時の増加分は、特殊事情として比較対象から除く。	95%未満～85% 3点	年次報告書P174.175(利用率・利用人数) ※平均値比●%　＝(H30度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:15,598人(平均値比95.0%　＝15,598人÷16,417人) 研修室:7,191人(平均値比93.9%　＝7,191人÷7,661人) 和室:2,229人(平均値比79.7%　＝2,229人÷2,796人) 料理実習室:755人(平均値比76.2%　＝755人÷991人) 陶芸室:338人(平均値比72.9%　＝338人÷464人) 資料室:5,184人(平均値比98.2%　＝5,184人÷5,281人)	3点	
					平均値比(93%)=利用人数(延べ31,295人)÷33,608人(上記(2)適用)				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P177～190(文化事業一覧) ①公民館まつり ・市之倉公民館文化祭　展示部門　400人　ステージ部門　300人 ②地域意識醸成事業 ・市之倉福祉講演会「つながりと支え合い」　73人 ・市之倉ウオーキング大会　91人 ・親育ち4.3.6.3たじみブラン協賛事業(ジャンボかるた取り大会、親育ち講演会、夢ふうせん文庫)430人 ・第8回新春書初め大会　50人 ・手話サロン　18人 ・市之倉陶の里フェスティバル、イルミネーション事業のほか3事業　7,200人 ・Xmasコンサート2018　in　市之倉　88人	仕様書以上　14点	・市之倉文化祭展示部門は、公民館で活動するサークル、一般団体・個人の作品の展示は、出品に向け日夜努力している姿は、見る人に感動を与えた。 ・市之倉文化祭ステージ部門は、発表の場であるホールでパンの販売や各団体の紹介など新しい文化祭を展開できたことは、次年度につながる良い収穫となった。 ・地域協働事業は、地域の各種団体と協働で事業を実施し、多くの地域住民の交流の場となっている。 ・公民館活性化委員会の方々が、地域の祭りで得た収益金で絵本を購入し、子どものより良い読書環境づくりに取り組んだ結果、小学生の図書利用が増えた。 ・同収益でクリスマス時期にイルミネーションを飾り、町を元気にするために取り組んでおり、クリスマスの時期には多くの住民がイルミネーションを楽しみにしている。	14点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る　2～0点	年次報告書P177～190(文化事業一覧) ・ひだまり健康大学　11回　395人 ・市之倉ひろば(市之倉七夕ひろばほか　6講座　1,316人) ・コンサート　2回　145人、朗読会　1回　50人、演奏会　1回　33人 ・川南地区公民館合同事業(ふれあい囲碁&将棋大会)3回　95人 ・成人対象事業(続・ママのための処方箋、男塾:料理ほか21講座)2,858人 ・子ども対象事業(宿題おたすけ隊、子供だってハーバウムほか5講座)222人 ・ギャラリー愛　13展　2,450人 ・たじみオープンキャンパス　5講座　296人 ・プライベートカレッジ　3講座　36人	期待以上　14点	・ひだまり健康大学は、元気な高齢者をより元気にするため、健康に関する知識、意識を高めていく内容で毎月開催し、生きがいづくりにもつながった。 ・市之倉七夕ひろばは、70代から80代のコーラスグループと市之倉保育園年中児の世代間交流の場となった。 ・ふれあい囲碁・将棋大会は、川南の3つの公民館との交流事業として開催し、他の公民館参加者との交流を図りながら、日ごろ対戦しない相手との対局を楽しむことができた。 ・続・ママたちの処方箋は、子育てに不安を持つママたちの不安やストレスの軽減を図る情報交換や仲間づくりの場として開催し、その後講座の継続開催を希望する参加者でサークルが誕生した。 ・男塾は9年を迎え、回を重ねるごとに世代を超えた友好関係ができ、今年度から男の料理塾というサークルへの移行が決まった。 ・子ども対象事業は、地域の子どもたちに「夏休み」は公民館へ行こうと思ってもらうために、多彩な体験や学習ができる場をより多く提供することができた。	14点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃 ②保守・点検 ③保安・警備 ④小規模修繕	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P192(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
					年次報告書P192(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年4回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
					機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
					年次報告書P174.175(有償修理の内訳) 有償修理　全26件　総額　1,095,756円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
					・朝夕の日常点検で把握 ・部屋担当者が把握 ・お客様の声で把握 ・館内会議で把握 ・台風等の悪天候時の緊急点検	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)							

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・不要文書は速やかに廃棄。ファイリングは、文書の重複をチェックし、必要最小限の文書保存。 ・個人情報が含まれる不要文書はシュレッダーにかけて廃棄。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	11点
			②環境への配慮			・寄贈本のリユースコーナーの拡大・寄贈書コーナーの設置 ・良好な環境衛生の確保 ・館内の節電と節水 ・図書業務のペーパーレスを推進し、業務を効率化	期待以上 3点	期待以上に実施されている。 ・図書業務のペーパーレスを推進し、業務を効率化	
			③バリアフリー			・多目的トイレのアコーディオンカーテンを折り戸式パーテーションに交換。案内表示の更新。車椅子等の通路を整理。 ・高齢の図書館利用者用に人気作家の大活字本を導入。 ・玄関でスリッパに履き替えるためのサポート椅子を設置。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・市之倉公民館独自の写真入り備品台帳の作成。 ・お客様用部屋別備品台帳、サークル預かり備品台帳の作成。 ・利用後の机や椅子、調理室の引出しの片づけ用の写真を掲示。調理室の引出しに正しく収納できるよう、収納ラベルを掲示。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・案内板への名前の記載に際して特定の個人を識別できないよう配慮。 ・公民館だよりやブログに利用者の顔写真を掲載する場合は、必ずご本人の許諾を得る。 メディアからの取材が入った場合は、さらに慎重に対応。 ・子どもの顔写真掲載の可否については保護者からの事前確認を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	来館者が運転していた軽自動車を駐車する時、アクセルとブレーキを踏み間違え、公民館花壇に乗り上げる事故が発生。人的被害なし。保険にて花壇を修復。	事故なし・対応に不備なし 0点		0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入19,795,340円÷支出19,696,715円＝101%	105%未満～100% 4点	適正に経営されている。	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	<事業面> ・囲碁、将棋サークルから他施設との交流もしてみたい。 →脇之島、市之倉、養正公民館3館合同の「ふれあい囲碁将棋大会」を3回実施。愛好者同士の交流が広がり、囲碁・将棋サークルのメンバーが増加。 ・託児つき講座を実施してほしい。 →子育てママのための無料託児つき講座を多治見市保健センター共催の「運動チャレンジ講座」で開催。子育てママのサークルが誕生。若い世代の新規利用者が増加。 ・人気講座をもう一度実施してほしい。 →講師の承諾を得て人気講座を再実施。 ・サークル支援講座を実施してほしい。 →支援講座実施。終了後、数名がサークルに入会。 ・文化会館で行っているような「ふらっとコンサート」を公民館でも実施してほしい。 →「心にビタミン2じcaféコンサート」をシリーズ化。好評を得る。 ・学習館で行う人気講座を実施してほしい。 →企業との連携事業を実施。多くの方に参加していただいた。	期待以上 9点	多くのニーズや要望に応えられている。 ・文化会館で行っているような「ふらっとコンサート」を公民館でも実施してほしいとの要望に対し、「心にビタミン2じcaféコンサート」をシリーズ化し、好評を得ている。 ・和室に姿見がほしいとの要望に対し、和室専用のキャスターつき姿見を設置。 ・間違えて、使用中の部屋に入る人がいるので何とかしてほしいとの要望に対し、利用の多い部屋の前に只今使用中の案内版を設置。 ・ロビーに靴を履く時のサポート椅子がほしいとの要望に対し、ロビーにサポート椅子を設置。 ・高齢者から図書室に大活字本を揃えてほしいとの要望に対し、人気作家の大活字本を導入。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	洋式化・バリアフリー化の改修工事を「早く終了させるように。」との意見 →大工事であることを説明し納得していただく。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対しても適切な対応ができています。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【事業実施】 ・子どもたちに多彩な体験学習・野外学習の場を提供し、思い出深い居場所づくりのため、国土交通省庄内川河川事務所、NPO法人と連携し事業を展開 ・公民館活動を知らないシニア男性のための”おとこの健康大学”を計画 ・市之倉児童センターと共催で、子育てママの仲間づくりを応援する事業として“おひるねアート”を開催 ・高齢者の「健康づくり」を応援する事業を拡大。”ひだまり健康大学””市之倉元氣アップひろば”を継続開催。新規で”イケメン健康塾”を爽ヶアグループと共同開催。 ・地域の施設や団体と連携し公民館の拠点機能の充実を目指す。 ・近隣の公民館と交流事業の拡大	期待以上 14点	より良い施設運営・事業実施のための提案がなされている。 ・子どもたちに多彩な体験学習・野外学習の場を提供し、思い出深い居場所づくりのため、国土交通省庄内川河川事務所、NPO法人と連携し事業を展開 ・公民館活動を知らないシニア男性のための”おとこの健康大学”を計画。 ・高齢者の「健康づくり」を応援する事業を拡大。”ひだまり健康大学””市之倉元氣アップひろば”を継続開催。新規で”イケメン健康塾”を爽ヶアグループと共同開催。 ・ロビー・空き部屋の有効活用を図り、子育て、児童の学習等に役立てサービス向上に努める。	14点

5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	特に指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点
							全体的な評価 ・高齢者の健康づくりと生きがいづくりを地域の協力を基に支援することができた。 ・地域と連携し多くの事業に展開している。 ・利用者と公民館双方にとって安心で心地よい施設運営ができている。 ・古い建物であっても、清掃が行き届いていて、清潔に保たれている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	極めて良好